

# 日本の名湯 温泉番付

日本は火山列島で数多くの温泉があります。温泉番付が初めて作られたのは、江戸時代の寛政年間と言われていたとされています。当時、数々のジャンルに対して、相撲の番付風に格付けした見立て番付が流行し、温泉番付も作成されました。

近年では、IT企業によるユーザー投票で、日本全国から高評価を得た温泉地と温泉旅館などを決定する「温泉大賞」があります。

この作品では、昨年行われた「第14回みんなで選ぶ温泉大賞」の結果を元に、上位の温泉地について風景印や切手などでまとめました。

温泉番付										
西	温泉番付				東					
前領	小結	関脇	大関	横綱	急須	前領	小結	関脇	大関	横綱
大分	徳島	高松	京都	大阪	徳島	徳島	高松	高松	高松	徳島
由布院温泉	下呂温泉	有馬温泉	城崎温泉	別府温泉郷	熱海温泉	伊香保温泉	忠悠川温泉	登別温泉	箱根温泉郷	草津温泉
同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同
奥平温泉郷	あわの温泉	三ツ峯温泉	白糸温泉	和歌山温泉	和歌山温泉	和歌山温泉	和歌山温泉	和歌山温泉	和歌山温泉	和歌山温泉
同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同
山形温泉	山形温泉	山形温泉	山形温泉	山形温泉	山形温泉	山形温泉	山形温泉	山形温泉	山形温泉	山形温泉
同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同
湯野温泉	湯野温泉	湯野温泉	湯野温泉	湯野温泉	湯野温泉	湯野温泉	湯野温泉	湯野温泉	湯野温泉	湯野温泉
同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同
大分温泉	大分温泉	大分温泉	大分温泉	大分温泉	大分温泉	大分温泉	大分温泉	大分温泉	大分温泉	大分温泉
同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同
湯野温泉	湯野温泉	湯野温泉	湯野温泉	湯野温泉	湯野温泉	湯野温泉	湯野温泉	湯野温泉	湯野温泉	湯野温泉
同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同	同 同 同 同 同



西

# 横綱 別府温泉郷 大分県

別府温泉は、大分県別府市内各地に数ある温泉の総称である。広義には別府温泉郷ともいい、別府市内には古くから由来の異なる温泉郷が8つあり「別府八湯」と呼ばれているが、これは1996年に地元の観光産業研究会が「別府八湯勝手に独立宣言」を提唱して定着したものである。昭和初期の別府温泉郷は、主に湯治向けの鉄輪温泉と明善温泉、保養的な観海寺温泉、鉄輪街の色彩が濃い浜脇温泉と北浜温泉（別府温泉）に大まかに分かれていた。温泉都市として知られる別府は、温泉数、湧出量ともに日本一であり、毎年800万人を超える観光客が訪れる。



海地獄 (My旅 九州 2018)



(別府局 櫛型印 S56)

郵便はがき



064-□□



札幌市中央区南11  
西14街西14丁目  
6A 103号  
横谷一宏様

売価 35円



お茶漬・絃 〒874別府市北浜1丁目江藤ビル2F ☎0977-23-3365/旅館・絃 〒874別府市若草町10の10 ☎0977-23-3128

別府温泉、鶴見岳 (別府局 4代目風景印 S59)  
湯の町別府 (広告葉書「旅館・絃」S59)

温泉を開いた一遍上人  
(別府鉄輪局 初代風景印 H12.10.17 終日印)  
鉄輪温泉街、扇山、鬼の面  
(別府鉄輪局 2代目風景印 H12.10.18 初日印)

郵便はがき



0070848



札幌市 北48条 東4丁目 4~15  
高橋 孟 様



東

# 横綱 草津温泉 群馬県

草津温泉は、群馬県吾妻郡草津町に所在する温泉で、草津白根山東麓に位置する。毎分3万ℓ以上の自然湧出量は日本一。室町時代には万里集九が、有馬温泉や下呂温泉とともに「三名泉」とし、江戸時代には林羅山もこれらの三温泉を「天下の三名泉」と記した。江戸時代後期以降何度も採られた温泉番付の格付では、当時の最高位である大関（草津温泉は東大関）が定位置であった。

有名な湯畑は、温泉街の中心部に湧き、名実ともに草津温泉の中核をなす源泉である。囲いの内側にある湯桶は、高温すぎる湧泉水を加水することなく恒温化するための施設であるが、湯の花を採集する目的も兼ねている。

草津温泉の共同浴場と浅間山の噴煙 (草津局 初代風景印 S7)

草津温泉の葉書に御座之湯の領収書 (H11)



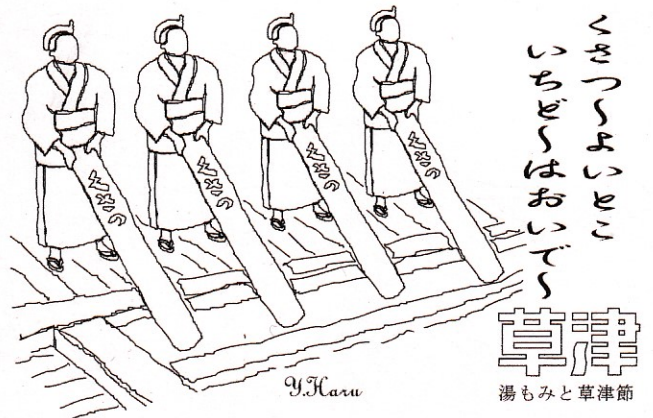
郵

草津温泉  
 湯天座御  
 群馬県吾妻郡草津町大字草津4-2-1  
 TEL 0273-88-9000

2013年 6月30日(日)No1

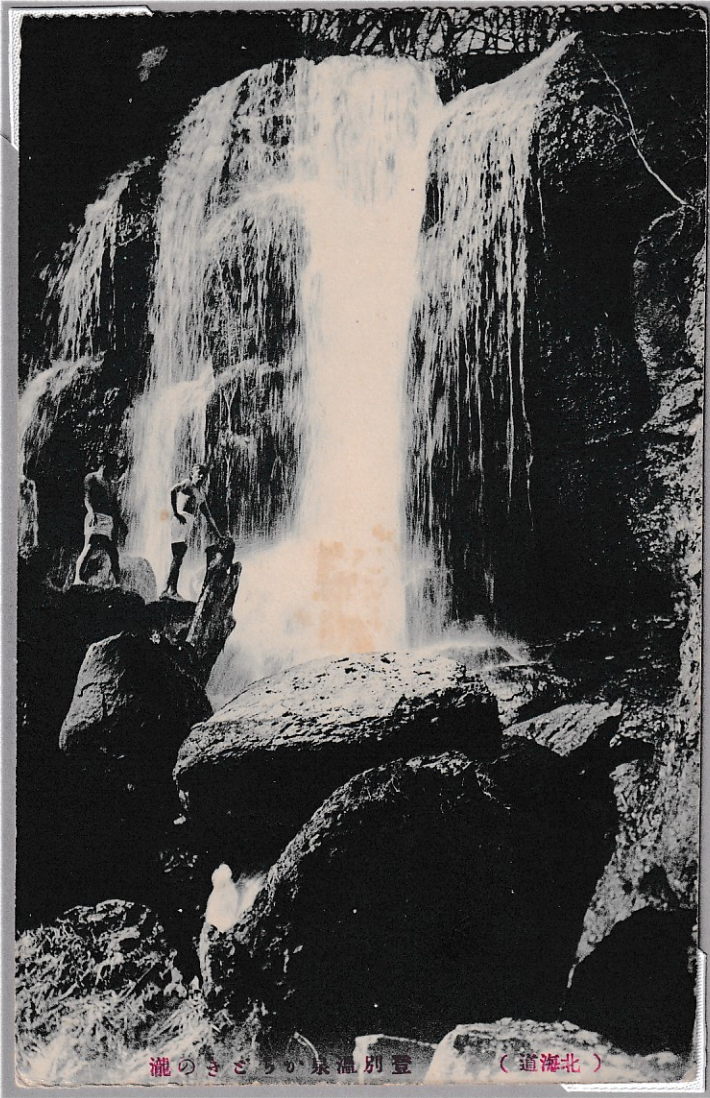
一般大人	
3個 X 単500	¥1,500
小計	¥1,500
合計	¥1,500
(うち消費税)	¥71)
お預り	¥2,000
お釣り	¥500

1責 1375 13時55分



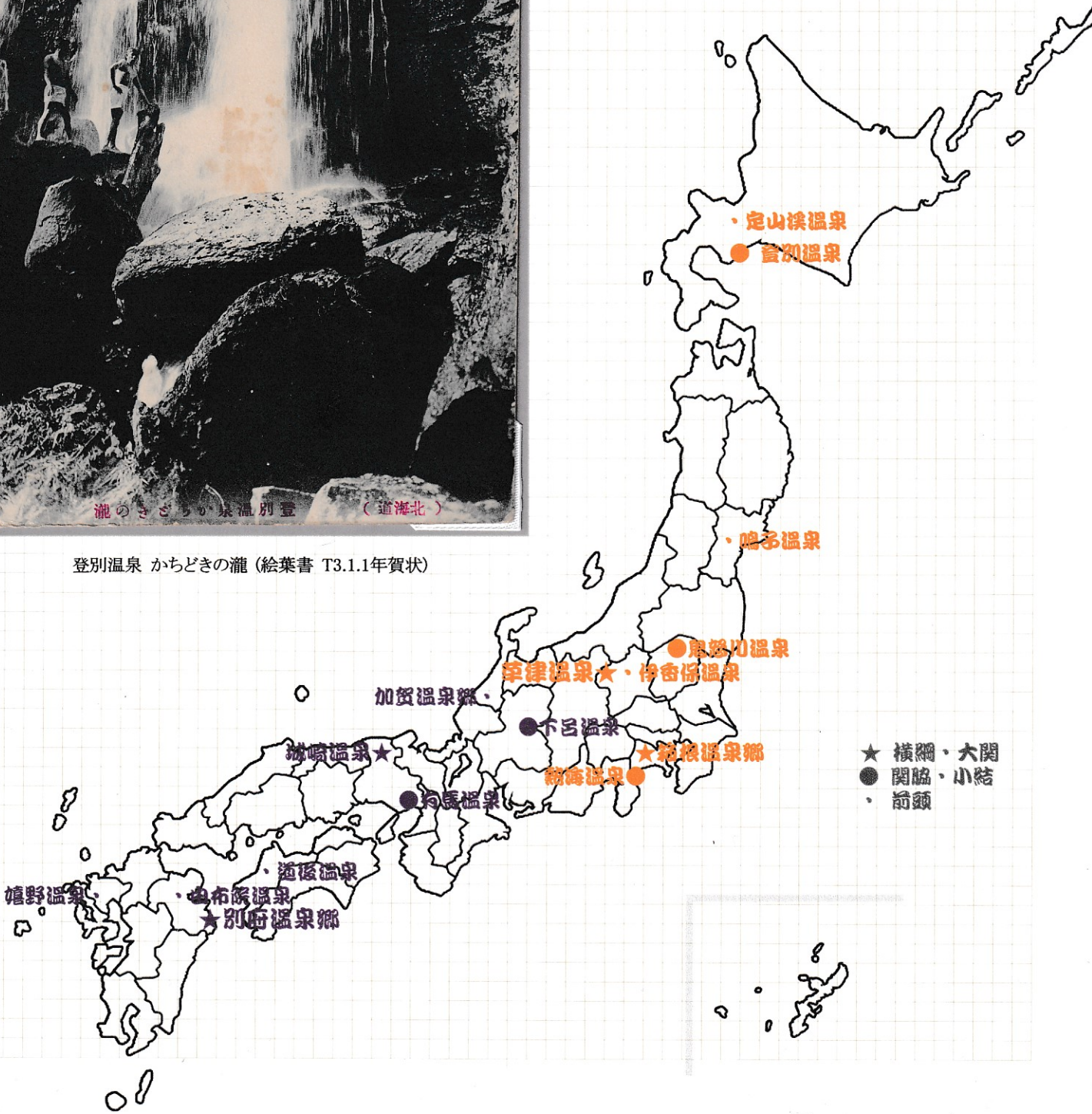
(草津局 丸型印 H3)

湯畑、シャクナゲ、灯籠 (草津局 3代目風景印 H13)



滝のさどりの泉温別登 (道海北)

登別温泉 かちどきの滝 (絵葉書 T3.1.1年賀状)



西

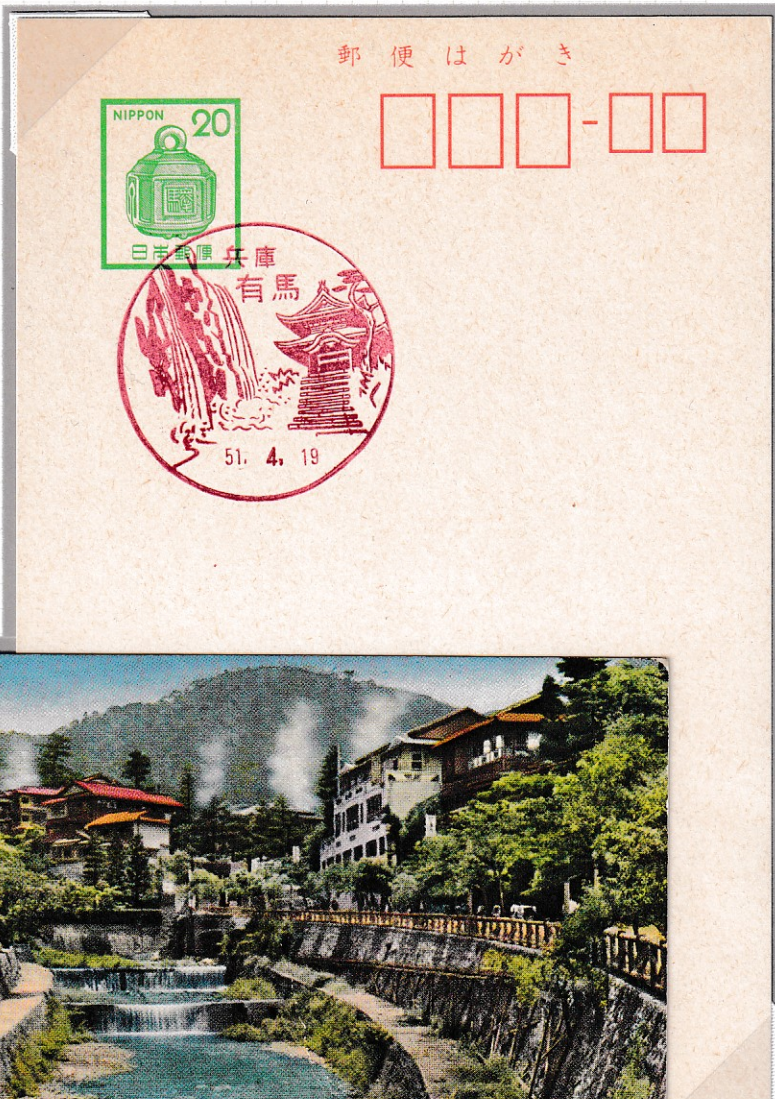
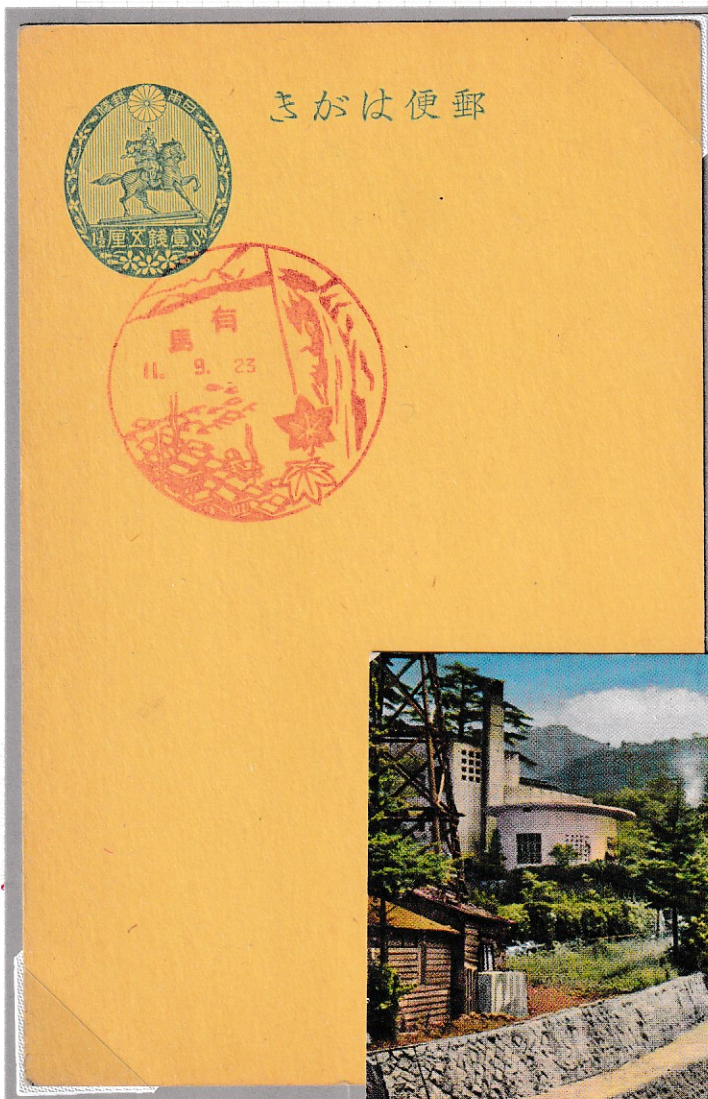
# 関脇 有馬温泉 兵庫県

有馬温泉は、兵庫県神戸市北区有馬町にある日本三古湯の温泉。桃華子の三名泉にも数えられた。また、室町時代には万里集九が、草津温泉や下呂温泉とともに「三名泉」とし、江戸時代には林羅山もこれらの三温泉を「天下の三名泉」と記した。江戸時代の温泉番付では当時の最高位である西大関に格付けされた。

温泉街は、六甲山地北側の紅葉谷の麓の山峡に位置している。大きな旅館やホテルは温泉街の周辺や少し離れた山麓や山中にある。外湯として、空気に触れ褐色する含鉄塩化物泉(赤湯)の「金の湯」(金泉)、透明な温泉の「銀の湯」(銀泉)が有る。

六甲山を背景に温泉場と鼓ヶ滝 (有馬局 初代風景印 S11)

鼓夫婦滝、城山妙見本堂 (有馬局 2代目風景印 S51)



YOSTOK PHILATELIC EXHIBITION LEAF No.1115



有馬温泉 (神戸)

Arima Hot Springs, KOBE



(有馬局 ローラー印)

有馬温泉(有馬川沿いの温泉旅館)(絵葉書 昭和30年代)

西

# 大関 城崎温泉 兵庫県

城崎温泉は、兵庫県豊岡市城崎町にある温泉で、有馬温泉、湯村温泉とともに兵庫県を代表する温泉でもある。舒明天皇時代の629年、コウノトリが傷を癒していたことにより発見されたとの開湯伝説があるなど、平安時代以前から知られる長い歴史を持ち、江戸時代には「海内第一泉」と呼ばれ、今もその碑が残る。明治以降も文人墨客に愛され、『城の崎にて』を書いた志賀直哉、有馬武弥をはじめとする多数の文豪が来訪した。

城崎温泉駅前から7つの外湯につながる大筋川沿いに温泉街を形成し、川べりには柳が植えられており、約70軒の旅館がある。日本海岸近くの温泉であり、夏は海水浴、冬はカニ料理に人気がある。

城崎温泉場に伝説のコウノトリ  
(城崎局 初代風景印 S7.6.1 初日印)

重要文化財・末代山温泉寺本堂、玄武洞 (城崎局 2代目風景印 S51)



城崎温泉 外湯めぐり (チラシ R4)

東

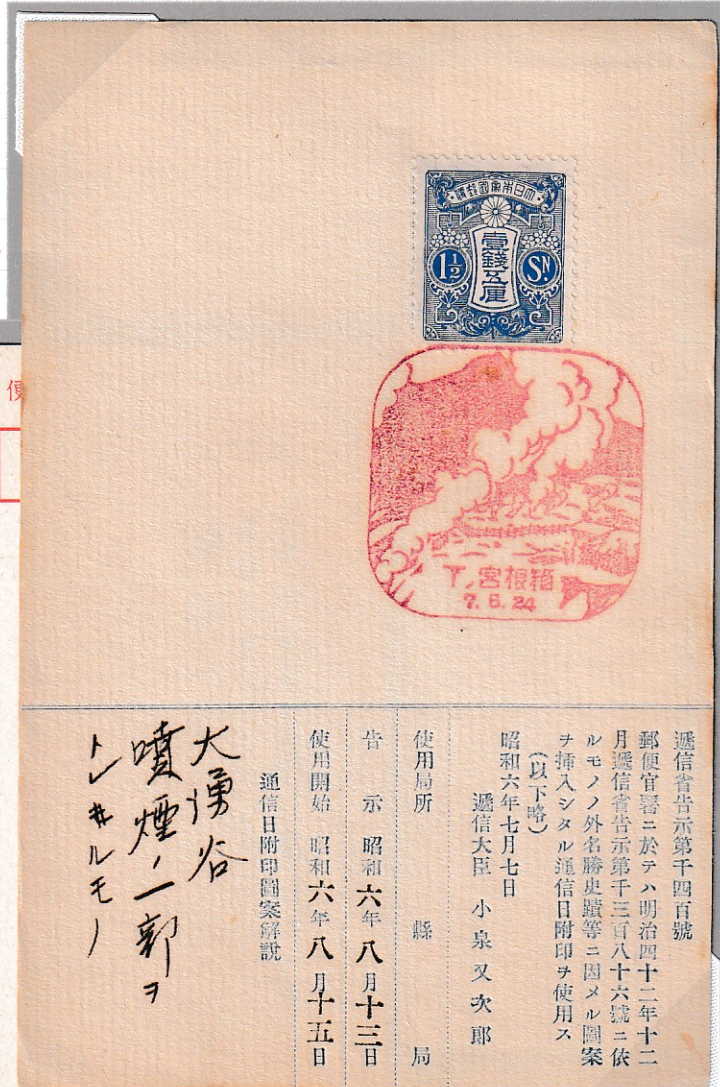
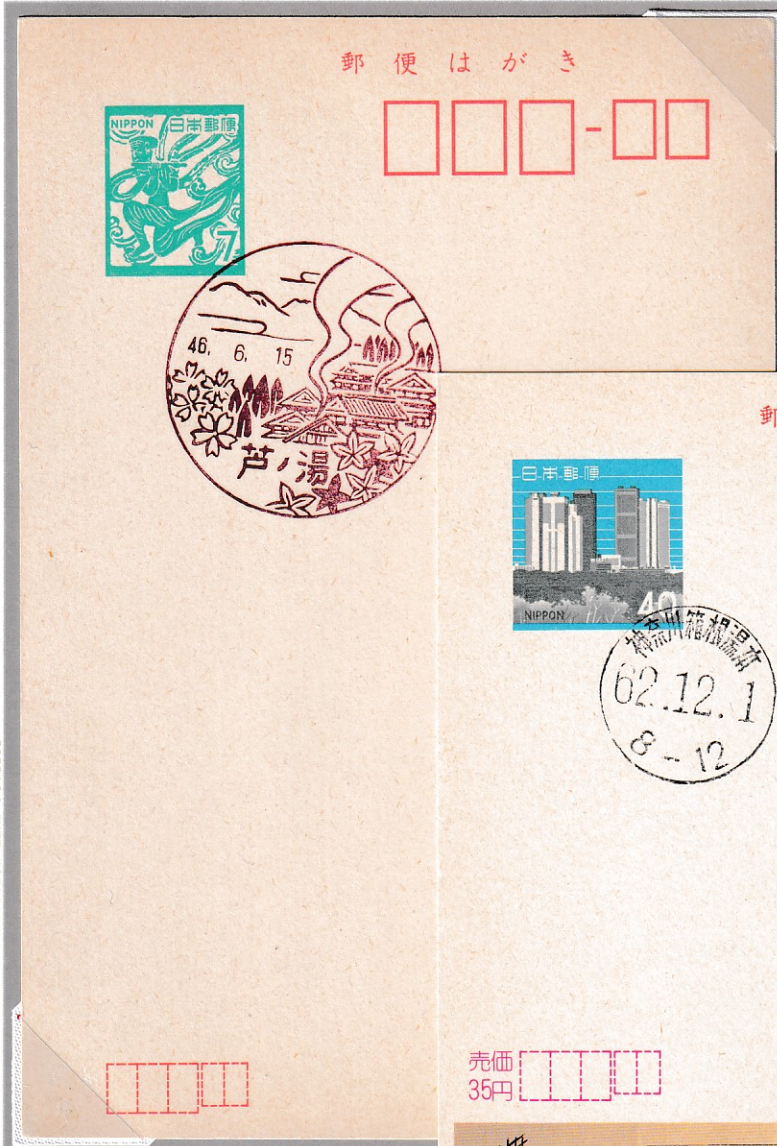
# 大関 箱根温泉郷

神奈川県

箱根温泉は、神奈川県足柄下郡箱根町にある温泉の総称である。旧相模国の時代から湧出してきた温泉群に加えて、新たに掘削などによって開発された温泉も含まれ、箱根火山の麓から中腹まで、温泉街が点在している。

江戸時代には五街道の一つである東海道を沿った温泉として繁栄し、「箱根七湯」(湯本、落久沢、堂ヶ島、宮ノ下、底倉、水賀、芦ノ湯)として知られた。明治以後、箱根は保養地、観光地としての開発が進み、1919年には箱根登山鉄道線が山とまで達し、戦後まもなく小田急電鉄が箱根湯本駅まで乗り入れ、東京方面からのアクセスが便利になった。

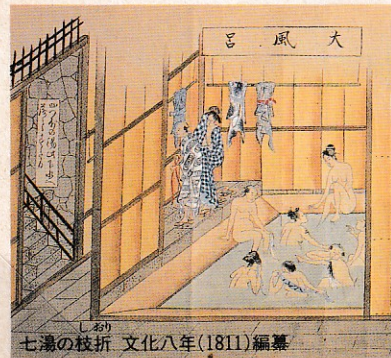
大涌谷の風景 (箱根宮ノ下局 初代風景印 S7)



双子山、硫黄温泉、ヤマザクラ (芦ノ湯局 2代目風景印 S46)



(箱根湯本局 櫛型印 S59)



七湯の枝折 文化八年(1811)編纂

## 箱根十六湯

江戸時代よりの名湯にほっと一息、肩までつかれば、歴史の流れにかまうことなく、今も昔ものんびり、ゆったり。

歴史の街——箱根



箱根十六湯 (箱根湯本局 丸型印 S62) (広告葉書 箱根町 S62)

逓信省告示第千四百號  
郵便官署ニ於テハ明治四十二年十二月逓信省告示第千三百八十六號ニ依ルモノノ外名勝史蹟等ニ因メル圖案ヲ挿入シタル逓信日附印ヲ使用ス(以下略)  
昭和六年七月七日  
逓信大臣 小泉 又次郎

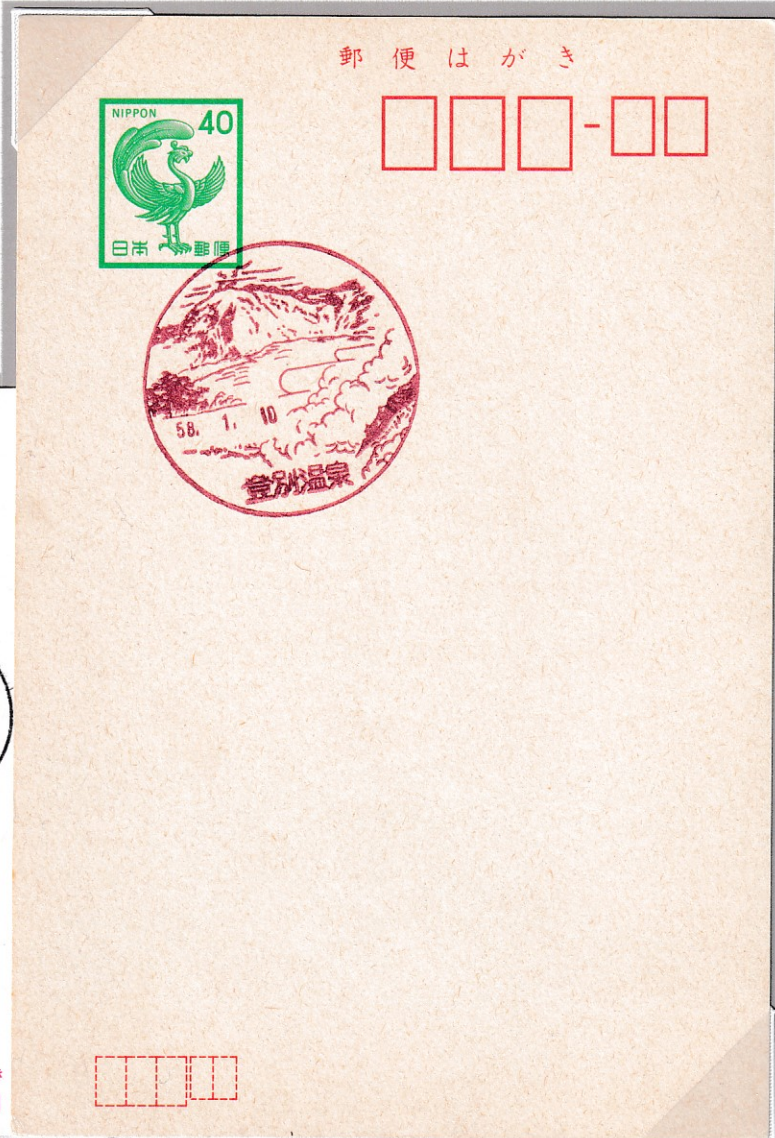
使用局所 縣 局  
告 示 昭和六年 八月十三日  
使用開始 昭和六年 八月十五日  
通信日附印圖案辭說

大湧谷  
噴煙ニ新ヲ  
トニルモノ

東

# 関協 登別温泉 北海道

登別温泉は、北海道登別市にある温泉。江戸時代から温泉の存在が知られており、明治時代に温泉宿が設けられてからは保養地・観光地となった。「にっぽんの温泉100選・総合ランキング」では毎年上位にランクインしている日本有数の温泉地となっている。自然湧出量は1日1万トン、9種類の泉質、毎分3,000リットル湧き出しており、「温泉のデパート」と呼ばれるほどである。中でも地獄谷は登別温泉最大の源泉エリアになっている。



登別温泉の地獄谷と湯滝をあびる浴客 (登別局 初代風景印 S8.5.18 実通便)



(登別温泉局 楡なし楡型印 S63)



大湯沼、日和山、地獄谷の噴煙 (登別温泉局 2代目風景印 S58)

のぼりべつ温泉 (広告葉書「登別市・登別温泉協会」H7)



西

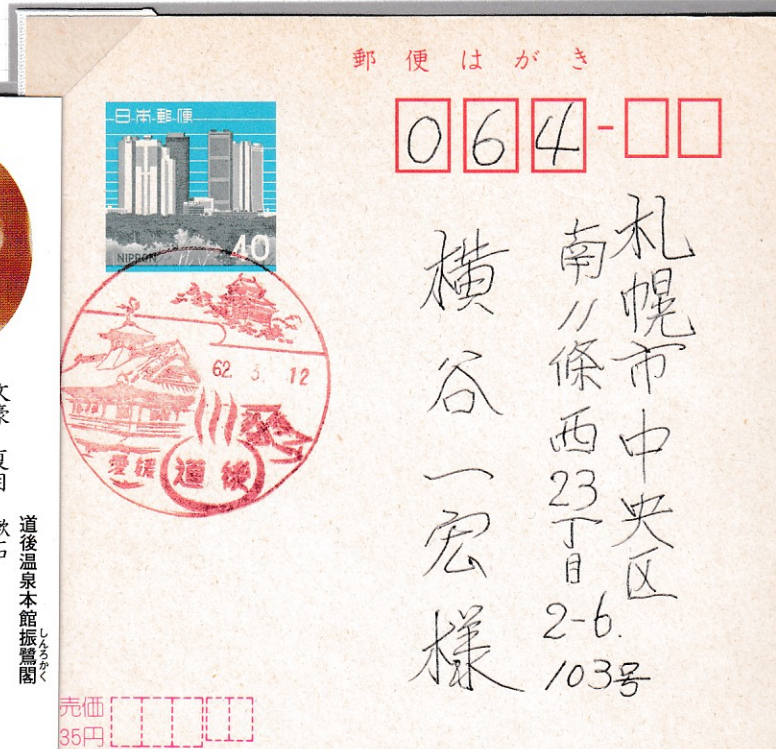
# 前頭 道後温泉 愛媛県

道後温泉は、四国・愛媛県松山市に湧出する温泉である。有馬、白旗とともに日本三古湯の一つといわれ、その存在は古代から知られ、万葉集巻一にも見られる。夏目漱石の小説『坊っちゃん』（1905年）にも描かれ、愛媛県の代表的な観光地となっている。

温泉街は中央にある道後温泉本館を中心としている。本館自体が観光施設であるが商店街なども観光客で賑わう。温泉本館前から、市内電車の道後温泉駅まで、L字型に道後商店街があり、土産物店や飲食店などが軒を連ねている。



道後温泉（ふるさと切手 愛媛 1989）



霞む日や  
巡禮親子  
二人なり



文豪 夏目 漱石  
道後温泉本館振替閣  
日本最古の歴史を誇る道後温泉は現在の建物明治二十七年に建てられた。翌年松山中学校に英語教師として赴任した漱石が好んで入浴されたことをしのんで三階の一角に「坊っちゃんの間」が設けられている。

霊石の中に道後温泉と松山城  
(松山局 初代風景印 S6)

道後温泉本館の  
入浴券 (H19)



※この券をご持参いただければ、又新殿が無料で  
ご観覧いただけます。(当日限り有効)



道後温泉本館、温泉マーク、松山城（道後局 3代目風景印 S62）  
いで湯と城と文学のまち（広告葉書「松山市」S62）

西

# 小結 下呂温泉 岐阜県

下呂温泉は、岐阜県下呂市にある温泉。室町時代には万里集九が有馬温泉や草津温泉とともに「三名泉」とし、江戸時代には林羅山もこれらの三温泉を「天下の三名泉」と詠じた。約7000年前の延喜年間から天曆年間の頃に、現在の温泉地の東方にある湯ヶ峰の山頂付近に温泉が湧出したのがはじまりである。泉効があり、当時から湯治客があったと言われる。下呂駅から飛騨川(袋田川)沿いを中心に旅館・ホテルが林立しており、川沿いのほか、両岸の山腹にも宿泊施設がある。

飛騨川に六見橋と温泉場(下呂局 初代目風景印 S10)



下呂温泉街、下呂富士、鉄橋  
(下呂局 2代目風景印 S46)



飛騨  
下呂温泉  
観光しをり

天然色写真版

6枚組



温泉街全景 ここは海拔400米の高地にあって風光明媚の仙境である

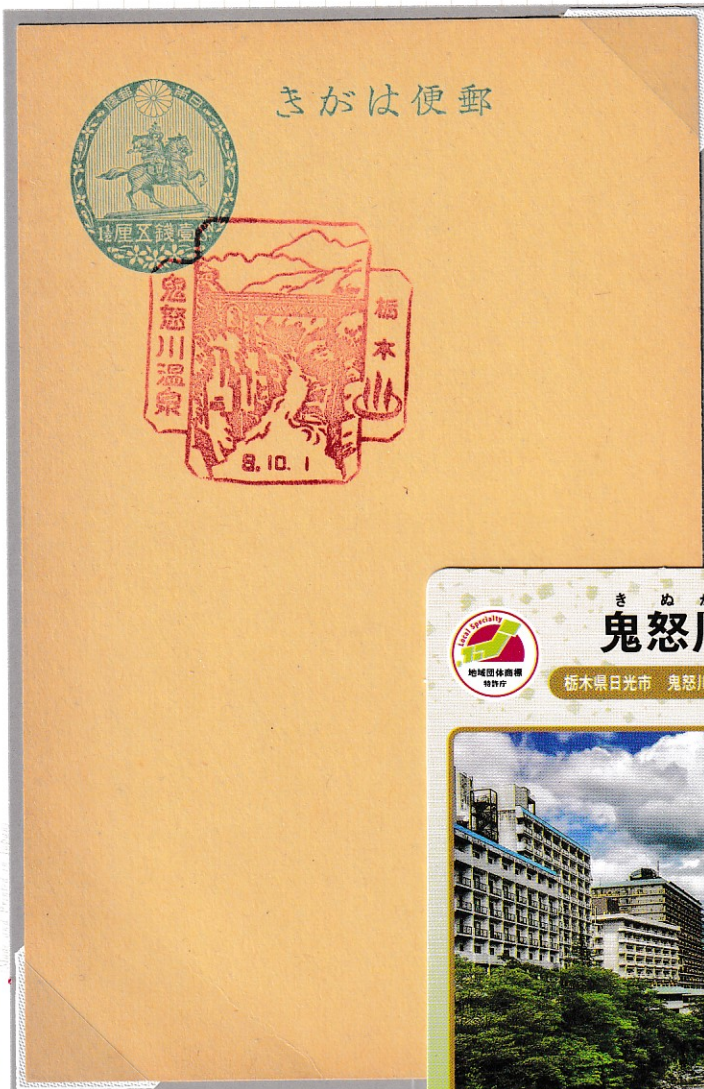
下呂温泉街全景(飛騨下呂温泉 観光しおり S30年代)

東

# 小結 鬼怒川温泉 栃木県

鬼怒川温泉は、栃木県日光市鬼怒川地区の鬼怒川上流域にある温泉。箱根や鶴岡と並んで「東京の奥座敷」と呼ばれ、年間200万人以上の宿泊客で賑わう。

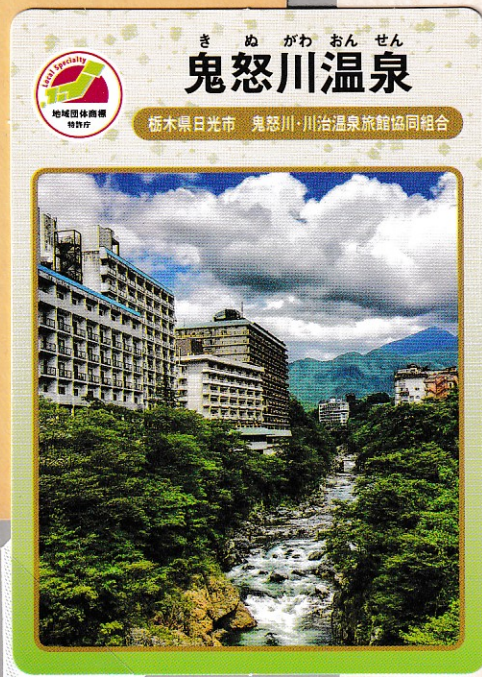
古くは滝温泉という名前で、江戸時代には日光詣捕りの諸大名や僧侶達のみが利用可能な温泉であった。明治時代になって滝温泉が一般に開放され、藤原温泉も発見された。川底から新温泉が次々と発見され、1927年に滝温泉と藤原温泉を合わせて鬼怒川温泉と呼ぶようになり、1929年の下野電気鉄道（現・東武鬼怒川線）の開通もきっかけとなり、次第に温泉として発展していった。



(鬼怒川温泉局 丸型印 S63)



温泉付近の溪谷と黒鉄橋  
(鬼怒川温泉局 初代風景印 S8)



鬼怒川温泉  
(地域団体商標カード R4)

竜王峡、虹見橋、虹見滝 (鬼怒川温泉局 3代目風景印 S49)

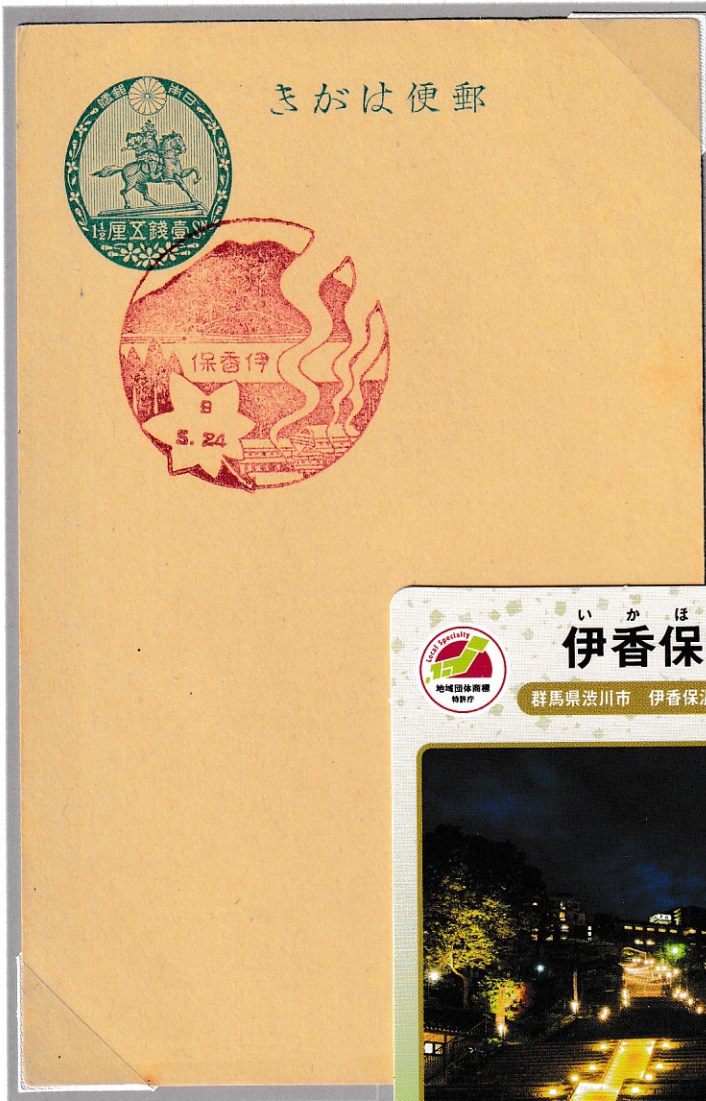
VOSTOK PHILATELIC EXHIBITION LEAF No.1115

東

# 前頭 伊香保温泉 群馬県

伊香保温泉は、群馬県渋川市伊香保町にある温泉。草津温泉と並んで県を代表する名湯で、よもがるたでは「伊香保温泉日本の名湯」と称されている。急傾斜地に作られた石段の両側に、温泉旅館、みやげ物屋、遊技場、飲食店などが軒を連ねており、365段の石段は温泉街のシンボルであり、この界隈は石段街と呼ばれる。

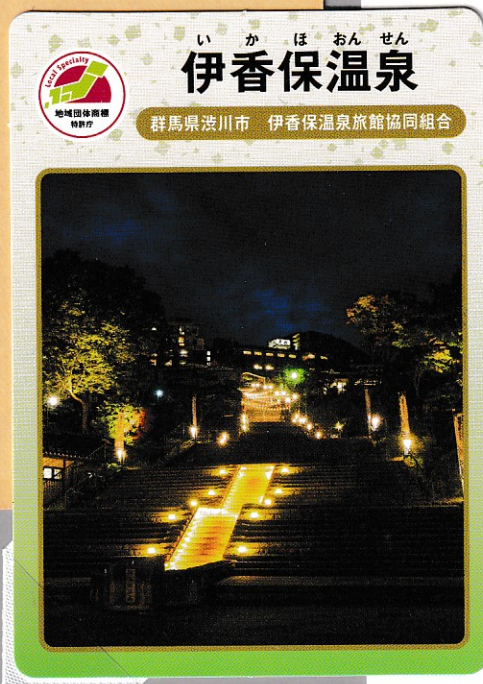
明治時代以降は竹久夢二、徳富蘆花、夏目漱石など文人が多く訪れ、御用邸やハワイ王国大使別邸なども作られた。1970(M44)年には、渋川から路面電車も開通したが、バスの台頭で1956(S31)年に廃された。1970(M44)年に勝月堂の半田勝三が売り出した「湯の花まんじゅう」は、日本各地で見られる茶色の温泉饅頭の発祥と言われている。



榛名湖、モミジ、伊香保温泉場 (伊香保局 2代目風景印 R5)



伊香保温泉に紅葉と榛名富士 (伊香保局 初代風景印 S8)



伊香保温泉 (地域団体商標カード R4)

西

加賀温泉郷 石川県

前頭

嬉野温泉 佐賀県

加賀温泉郷は、石川県加賀市と小松市にある温泉の総称。主に小松市の乗津温泉、加賀市の片山津温泉、山代温泉、山中温泉の4つの温泉を表す名称として使われることが多く、「加賀四湯」とも呼ばれている。地理的に「関西の奥座敷」と評されることもある。

乗津温泉、山代温泉、山中温泉は7300年以上の歴史があり、山代温泉は、4つの温泉街の中心に位置し、かつては北陸有数の温泉街として栄えた。

嬉野温泉は、佐賀県嬉野市にある温泉で、武雄温泉と並び佐賀県を代表する温泉である。市の中心地に湧く温泉地で、九州でも有数の大温泉街である。

歴史は非常に古く、神功皇后の西征にまで遡る。また、和銅6年に記された肥前国風土記には万人の病を治す名湯として嬉野の名が挙がっている。美肌に効果がある温泉で、「日本三大美肌の湯・嬉野温泉」の名称で嬉野市により商標登録されている。

温泉場風景 (粟津局 初代風景印 S6)

日本名代美肌の湯 嬉野温泉 (広告葉書「嬉野温泉」H13)



(山代局 楡型印)

(山中局 楡型印)

温泉場風景 (片山津局 初代風景印 S6)

VOSTOK PHILATELIC EXHIBITION LEAF No. 11115

西

# 前頭 由布院温泉 大分県

由布院温泉は、大分県由布市にある温泉で、由布岳の麓に広がる温泉地である。温泉湧出量、源泉数ともに全国2位の豊富な湯量を誇る。由布院駅から温泉街の方向に延びる「由布見通り」や、金鱗湖に続く「湯の坪街道」には、洒落た雑貨屋やレストランが並び、周辺には各種の美術館が点在する。

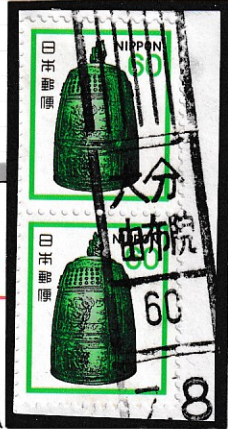
由布院観光の始まりは、別府～由布院間の幹線道路の開通と大湯鉄道の建設による交通網の充実が由布院温泉の礎となった。1959年に国民保養温泉地に指定され、昭和40年代から町ぐるみで毎年夏に映画祭や音楽祭を開催してきた。



(由布院局 ローラー印 S60)

横

札



郵便はがき

0 6 4



札幌市中央

南15西18-2-5-203

横谷 一宏様



谷

一

宏

様

再生紙はがき 売価 45円

平成 2年 5月 15日

厚生省指定 ゆふいん温泉

国民保養温泉地・周遊指定地

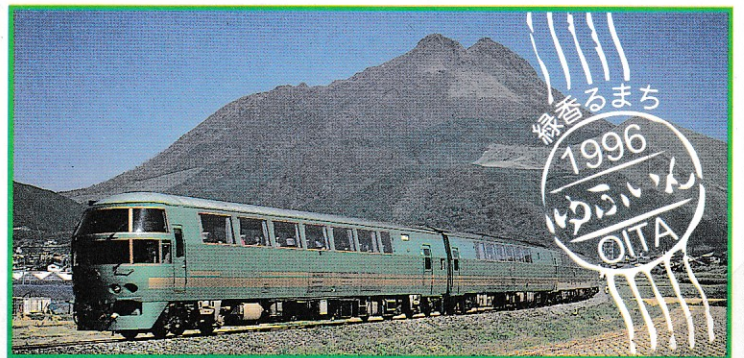
町営国民宿舎

# 由布山荘

郵便番号 879-51

大分県大分郡湯布院町大字川上2927の1

TEL (0977) 84-2105・84-2106



由布岳、温泉街 (由布院局 初代風景印 H8)  
由布岳を背景に走る特急「ゆふいんの森」  
(広告葉書「湯布院町」H8)

由布山荘から差出の封書  
(由布院局 丸型印 H2)

VOSTOK PHILATELIC EXHIBITION LEAF No.1115

東

# 前頭 熱海温泉 静岡県

熱海温泉は、静岡県熱海市にある温泉で、日本の三大温泉の一つとも言われる。熱海駅の北東から南東にかけて、相模湾に面する海沿いに旅館やホテルが立ち並び、昔からの温泉街は山のすそ野にある駅近辺から海岸沿いまで広がる。歴史的にも古い温泉であり、明治以降は文人墨客が多く訪れ、多くの作品がこの地を舞台に描かれ、尾崎紅葉の『金色夜叉』によって熱海の名は全国的に知られることとなった。昭和30年代は新婚旅行の代表的な行き先、東海道新幹線開業後の昭和40年代は高度経済成長期の影響による団体旅行などで、宿泊者が年間450万人を突破した。

郵便はがき



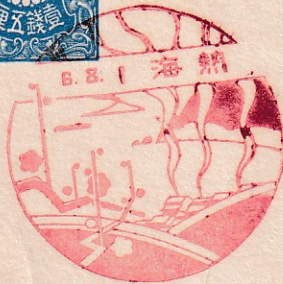
熱海駅前の間歇泉、お宮の松、熱海海岸  
(熱海駅前局 2代目風景印 H11)

熱海サマーホリデーの花火 (広告葉書「熱海市」 S58)  
錦ヶ浦からの熱海海岸線、熱海梅園のウメ (熱海昭和局 初代風景印 S58)

郵便はがき



きかは便



札幌市西区発寒  
十一條四丁目八、五  
横谷一宏様

売価35円

熱海温泉は熱海伊豆山・伊豆湯河原  
網代・多賀の各温泉の総称です。



## 熱海サマーホリデー

アタミゴルフカーニバル…6月下旬～8月上旬  
熱海マリンウィーク…7月下旬～8月上旬  
熱海オーシャンカップレース…7月23日  
熱海海上花火大会…7月25日/28日/8月5日  
納涼花火大会(伊豆山)…8月3日  
百八体灯籠流し(多賀)…8月16日  
海上花火大会(網代)…8月16日

お問合せ/熱海市観光課 TEL0557-81-0151  
熱海市観光協会 TEL0557-82-1241

# ATAMI

温泉場とウメの花に大島の遠望  
(熱海局 初代風景印 S6.8.1初日印)



(熱海局 丸型印 H1)

## 定山溪温泉 北海道

## 前頭

## 鳴子温泉 宮城県

定山溪温泉は、北海道札幌市南区にある温泉。豊平川  
の川沿いにホテルなどが立ち並ぶ。

修験僧の美泉定山は、「鹿が傷を癒す湯場があるらしい」との噂を聞きつけて山に入って温泉を発見し、1866  
(慶応2)年に私設の湯治場を作った。1870 (M3)年に本願  
寺通路の開削工事が始まると官営の温泉場が設けられ、  
定山は岩村通俊判官から湯守を命じられた。1918年(T7)  
年に定山溪鉄道が開通すると温泉客で発展した。

温泉郷、豊平峡の奇岩 (定山溪局 2代目風景印 S44)

鳴子温泉は、宮城県大崎市にある温泉。栗駒国立公園  
内に位置し、福島県の飯坂温泉、宮城県の秋保温泉とと  
もに奥州三名湯に数えられる。

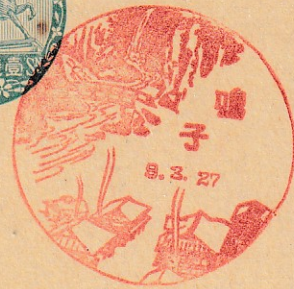
温泉街は、大型ホテル、旅館や湯治宿などいろいろな  
タイプの宿が存在し、下駄履きで温泉街を歩いて巡る  
「下駄も鳴子」というキャッチフレーズを打ち出してい  
る。鳴子温泉は、土湯温泉や遠刈田温泉と並ぶ三大こけ  
し発祥の地である。

鳴子峡谷と温泉場の一部 (鳴子局 初代風景印 S8)

郵便はがき



きかは便郵



北海道定山溪 定山溪クラブ(現ホテル鹿の湯) (絵葉書 昭和初期)